

## 令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	74	学校名	浜松湖南高等学校	記載者	神村 佳代
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	知性の涵養に資する授業づくりに取り組み、能動的学習者を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業や家庭学習で学力が向上した」生徒 90%</li> <li>・「授業の中で、自分の考えをまとめたり、周囲と共有したりする機会が多い」生徒 90%</li> <li>・「授業で ICT が活用されている」生徒 85%</li> <li>・授業公開週間の利用 2回</li> <li>・他校取組視察 教員 9名</li> <li>・自己調整学習 情報提供 3回以上</li> </ul>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力が向上したと考える生徒の割合が 86% というのは、湖南高校の生徒・職員がともに頑張っていることを示していて、良い数字である。</li> <li>・教員相互による授業参観は、指導技術の向上、授業改善、授業力向上を目指す風土の醸成のために有効だと思われますので、授業公開週間を利用する先生がたが増えることを期待します。</li> <li>・授業公開週間の利用については、目標を達成することができなかった原因を踏まえ、来年度以降は改善して対応をしていただきたい。</li> <li>・自己調整学習や探究学習についての視察内容が次年度の授業に活かされることを期待します。</li> <li>・授業で ICT が活用されていないと感じる生徒の声を拾いあげ、授業改善に役立てることができればと考えます。</li> </ul>
イ	進路意識の高揚及び進路目標の達成を目指し、きめ細やかな進路指導を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で志望分野研究に取り組んだ 生徒 90%</li> <li>・2年生で第一志望先決定に向けた研究ができた 生徒 90%以上</li> <li>・3年生で1学期中に進路実現に向けた研究発表ができた 生徒 95%以上</li> <li>・進路情報の提供に満足している 保護者 90%</li> <li>・海外進学のご案内 実施1回</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型選抜の利用希望生徒が増えていることから、総合型選抜と一般選抜に関する指導の違いを意識し、学校の方針の共通理解のもと、生徒に対応することが一層大切になってくると思う。</li> <li>・これまでよりも早い段階から英語の受験勉強に取り組む生徒が増えると、第一希望に合格する生徒も増えるのではないかと。</li> <li>・成果目標が高い水準で達成されていることから A 評価といたしました。</li> <li>・一方、1年生で決定した志望分野が2年次、3年次で維持されているか、それに満足しているかという点についての追跡調査の必要性も感じました。</li> <li>・早期に第一志望を固めることも大事ですが、2年次、あるいは3年次になってから進路に迷ったり、当初の予定の変更を希望する生徒さんも一定数いると思うので、そのような生徒さんに寄り添った指導をしていただけるといいなと思います。</li> <li>・今後も生徒に寄り添ったきめ細やかな進路</li> </ul>

					指導の継続をお願いします。
ウ	自律の精神により、基本的な生活習慣を確立させ、豊かな人間性と社会性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「積極的に挨拶ができています」 生徒 95%</li> <li>・「校則等を守り、高校生らしい服装・行動をしている」 生徒 95%</li> <li>・「学校行事や部活動等に生徒が主体的に取り組んでいる」 生徒・職員 95%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「積極的に挨拶ができています」は、100%になると良い。</li> <li>・積極的な挨拶は相手に対して好印象を与えるので、今後も事業を継続してください。</li> <li>・「校則等を守り、高校生らしい服装・行動をしている」生徒が98%というのは、できていない生徒が2%いるとはいえ、学校全体としては良い数字である。</li> <li>・学校運営協議会で学校に伺った際の印象から、生徒さんの挨拶や服装等は問題なく、また、協議会の御報告から、各行事、部活動に積極的に取り組む生徒さんが多いことがうかがわれます。生徒さんの規範への意識づけと主体性の育成に引き続き御尽力いただきたいと思います。</li> </ul>
エ	心豊かな人生の実現に資する文化的環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書への取り組み意欲に対する肯定回答 90%</li> <li>・読書週間 年2回実施</li> <li>・図書館開館 年200日</li> <li>・1・2年生の年間読書数 平均10冊</li> <li>・文化部作品展示実施3回</li> <li>・百人一首大会の実施1回</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を実践すると語彙が豊かになるので、今後も朝読書を継続してください。</li> <li>・図書館がよく整備されている。</li> <li>・図書館のことをPRできると良い。</li> <li>・年間読書数平均8冊は、よく読書をしていると思う。</li> <li>・1・2年生の読書量は目標よりも低い水準であるものの、朝読書への取り組み意欲に対する肯定的回答の率は向上しており、当初の目標を達成していると考えます。</li> <li>・教職員の皆様や図書委員さんの取組により、生徒さんに読書文化が根付いていくことを期待しております。</li> </ul>
オ	心身ともに健康で安全・安心に過ごすことができる教育環境を整備し、生徒の安全意識高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「悩みや不安がある時、それを打ちあける人や機会・場所がある」 生徒 90%</li> <li>・健康観察による情報共有</li> <li>・清掃点検全項目 A評価分担箇所 85%</li> <li>・再受診率60%以上</li> <li>・心身の健康調査 実施3回</li> <li>・「訓練や研修会等によって安全・安心に対する意識が高められた」 生徒・教職員 90%</li> <li>・施設、設備の 事故 0件</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルケアがよくできている。</li> <li>・相談室利用希望者が増加していること、「悩みや不安がある時、それを打ちあける人や機会・場所がある」と回答した生徒さんの割合が向上していることは、一見するとネガティブなデータではあるものの、生徒の支援への取組が充実している証左として、ポジティブにとらえてよいと思います。</li> <li>・不安や悩みを抱えた生徒の支援については、生徒が利用しやすい環境の整備をさらに進めていただき、対象となる生徒が何度でも支援を受けることができるようになることを期待します。</li> <li>・校内の美化や生徒の安心・安全への意識が組織として高い水準で保たれていることを高く評価します。</li> <li>・防災については、関心が高いものであり、取組とその成果の外部への示し方を検討すると良い。</li> </ul>

カ	<p>高い資質・能力を備えた教職員集団であるべく、常に研究・修養に励むとともにワークライフバランスの向上に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習、ICT活用、特別支援教育をテーマとした研修会の実施年6回以上</li> <li>・「研修機会を積極的に活用した」事務部職員 90%</li> <li>・管理職による定時退庁の働きかけ 週1回</li> <li>・最終施錠時刻が勤務上限時間を超えた日数 前年比 20%減</li> <li>・年間100日以上休養した部活動 100%</li> <li>・ICTを利用し業務が改善された職員 70%</li> <li>・業務改善の実施各課1件</li> </ul>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の業務が多すぎると思う。やらなくてもよい業務もあるのではないか。</li> <li>・学校の業務が多すぎることで、全国的に起きている教員の不祥事にもつながっていると思う。</li> <li>・業務量が適切であり、教員のコンディションが良好であることが、良い教育につながり、生徒にとっても良いことになると思う。</li> <li>・教職員がワークライフバランスの向上に努めることで、ウェルビーイングと学校での研究・修養が両立できるようになることを期待します。</li> <li>・部活動において、外部の指導者を配置したとしても、教員がそばについていなければならないと教員の負担は減らない。外部の指導者に、責任も含めて、任せられるようになると良い。</li> <li>・年間100日以上休養できなかった部活動については、その理由、活動状況等を精査し、次年度の取り組みに活かしていただければと思います。</li> <li>・ICTの活用による業務改善への取り組みが積極的に行われ、成果を上げている点が高く評価できると思います。</li> </ul>
キ	<p>積極的な広報発信を通じて地域に開かれた学校づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」保護者 90%</li> <li>・管理職運営委員による中学校訪問 年2回以上</li> <li>・「教育活動に魅力を感じた」中学生一日体験入学・オープンスクール 参加者 90%</li> <li>・地域事業への協力 10件</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高校の授業料無償化の影響で私立高校に生徒が流れてしまう可能性がある。学校の魅力をどうやって発信するかが課題と思う。</li> <li>・在校生に対して、この学校のどこが好きかといったこと等のアンケートを取り、学校のアピールポイントを明確にすると良い。</li> <li>・入学するとこんな可能性が広がる学校だということや保護者の満足度を取りまとめてアピールすると良い。</li> <li>・情報発信が積極的に行われ、保護者にも評価されたことがうかがわれます。</li> <li>・スクール・ポリシー具現化の柱として「積極的な広報発信を通じて、地域に開かれた学校づくりに努める。」としているので、学校の特色である英語科が併設されていること及び地域事業への協力については、積極的な情報発信をすることで活動内容を周知してください。</li> <li>・体験入学・オープンスクールにおいて、貴校の教育活動に魅力を感じた参加者（中学生）が97%と非常に高い割合であることは大変喜ばしく、教職員や生徒さんの御努力が結実したものと頭が下がる思いです。</li> </ul>

ク	<p>英語教育、国際交流事業を全校で推進し、生徒のグローバルな視野育成、異文化、多文化共生への理解を促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際交流事業がグローバルな視野の育成に役立った」 生徒 95%</li> <li>・校外の国際交流/異文化理解/多文化共生/高大連携事業等への参加希望生徒 前年度比 10%増</li> <li>・英語学科の生徒が卒業時に英語検定2級以上を取得する割合 90%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外へ行くことで生徒は変わると思う。</li> <li>・学校全体で国際交流活動に取り組んでいることについて、外部の認知度はそれほど高くないと思う。</li> <li>・オーストラリア研修に行った生徒の生の声を中学生に届けると、学校の良いPRになる。ビデオメッセージを作成すると良いのではないか。</li> <li>・数値目標を達成できなくても、生徒がチャレンジをして成長できる機会を提供することが大切である。</li> <li>・英語科が併設されている学校として、今後も生徒が事業に参加しやすいように、課題を解決して取組んでください。</li> <li>・国際交流事業の積極的な展開や、英検2級以上を取得する生徒さんの割合の向上といった成果は非常に高く評価できると思います。</li> <li>・生徒さんのグローバルな視野育成、異文化、多文化共生への理解については、現在の評価指標のみでは評価するのが難しい印象をもちます。</li> </ul>
ケ	<p>関連事業参画や地域関係機関連携による探究学習を推進し、生徒の問題解決能力育成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『総合的な探究の時間』の学習や活動が自らの進路選択に影響している」 生徒 75%</li> <li>・校外の探究学習発表会への参加、発表1回</li> <li>・海外フィールドスタディ実施、発表会の実施</li> <li>・探究学習研修会参加、職員6名以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習の指導は大変で、難しい部分があると思う。</li> <li>・何か課題を設定して探究するように学校が投げかけたことから生徒の探究が始まるとしても、自分で課題を探して取り組む中で、気づきを得られるということが大切だと思う。</li> <li>・生徒が自分でできちんと取り組むことで生徒の力になると思う。</li> <li>・探究については、ビジネスにおける問題解決手法としても重要視されているので、生徒が経験を積むためにも、今後も継続して探究学習を推進してください。</li> <li>・普通科・英語科を問わず、台湾で学ぶことができるのは良い。</li> <li>・「総合的な探求の時間」の充実に向けて組織的に取り組まれている様子が見られました。</li> <li>・HAMANAN 探究コンソーシアムの取り組みが、多くの生徒に波及し、能力の育成につながることを期待しています。</li> </ul>